

① 夏季語学研修 全体を通して

経済学部 1 年 徳留美希



約1ヶ月の語学研修。期待と不安を抱きながら、初めての異国の地へと向かった。1日目は、空港で出迎えてくれたホストファミリーとサンディエゴの街を少し観光しながら家に向かい、部屋を案内してもらったり、日本のお土産を渡したりした。緊張であまり話すことはできなかったのを覚えている。2日目は、お母さんの知り合いの家にホームステイしている日本人の女のとお出かけをして、映画を見たり、買い物をしたり、楽しい時間を過ごすことができた。

3日目からスタートした大学。まず驚いたのは、大学の敷地の広さ。それから、ジムやプールなどの充実した設備にも驚かされた。この日はクラス分けのテストを受け、大学内を案内してもらい、本格的な講義は翌日から始まった。レベル別にクラスが分けられ、8～13時まで3つの講義を受ける。それぞれ先生が違い、月と水、火と木が同じ講義になっていた。普段より集中して講義を聞かないと講義内容を理解できないため、最初はとても疲れたが、講義内でペア活動を行うことが多く、色んな人と話す機会があり、スポーツ大会やマジックを通して英語を学ぶ講義もあり、日本の大学とは違った講義の進め方がとても新鮮で、楽しく講義を受けることができた。

講義が終わった後や休日は、みんなで色んな所に観光に行った。ファッション・バレー、シーワールド、ビーチ、ロサンゼルス、ディズニーランドなど、ここには書ききれないほどの思い出を作ることができた。また、ホストファミリーの皆さんも色んな所に連れて行ってくださり、最初は英語も全然話せなかったし、緊張もあってなかなか会話することができなかった

けれど、少しずつではあったが、その日の出来事や日本での生活について話すことができるようになり、何より本当に優しいホストファミリーで、ここにホームステイできてよかったと感じている。

1ヶ月で英語を完璧にすることはできなかったけれど、人生の中で一番英語に触れることができた、またたくさん思い出を作ることができた1ヶ月だった。楽しいことばかりではなく、不安もあったし、言いたいことが伝わらなかったり、きつい時もあったけれど、自分にとって本当に大きな経験をすることができた。家族、ホストファミリー、先生方、一緒に参加したみんなに心から感謝している。



② 夏季語学研修 全般にわたって

経済学部 2 年 橋本茉莉絵

今年の夏 1 か月間、私はアメリカのサンディエゴで過ごしました。日本にいる時とはまるで違い、見るものすべてが新鮮に映りました。この留学で、様々なことを学び、普通では体験できないようなこともすることができ、ひとまわり成長できたような気がします。



サンディエゴでの体験はどれも忘れられないものばかりですが、特に印象に残っているものが3つあります。まず一つ目は、ホームステイの人たちとの交流です。このことに関しては、たいして英語能力がなく、人見知りである私がうまくコミュニケーションをとることができるかどうか、留学前から不安でした。しかし、出会った時からホームステイ先の家族はフレンドリーで英語がうまく話せない私に対して、紙に書いてくれたり、イエス・ノーで答えられるよう

③ 夏季語学研修を終えて ～ SDSU の印象

経済学部 2 年 関山美樹

な会話をしてくれたり、すぐに不安はなくなりました。そして、いろんなところにも出かけました。そのなかでも忘れられないのは、2泊3日でディズニーに行ったことです。ここでは、普段しゃべることのなかった、子どもたちとも会話ができて、あの旅行でいっきに距離が縮まったような気がします。別れのときにはひとりひとり抱きしめてくれて、この家族のもとで一か月間過ごせてほんとうに幸せだったなと感じました。



二つ目は、大学で出会った、様々な国の留学生たちです。私のクラスには日本人が多かったのですが、ほかにも、韓国、中国、インドネシア、ネパールなど日本にはなかなか会えないような人たちとも話すことができ、その国独特の文化などもたくさんあって、驚きの毎日でした。平日は六時起きとなかなかハードでしたが、その分たくさんのお話を学びました。

三つ目は、一緒に留学をした仲間たちとの日々です。もし彼らがいなければ、寂しさに負けていたような気がします。毎日学校終わりに集まるとは、今日はどこに行ってみようとか、何々があつたとか集まって話すだけで、日本にいる家族や友達と会えない寂しさがまぎれるような気がしました。

この留学で、時には寂しさにおしつぶされそうになったこともあったけれど、それに打ち勝てたのは、まわりにいる友人、ホームステイの家族、さらに日本にいる友人、家族の支えがあったからだと感じています。これまでひとりでできなかったようなこともこの研修を機にできるようになったり、なにより、英語が好きになりました。自分が知らないこともまだまだたくさんあると気づかされ、もっと勉強して、またアメリカにいきたく強く思います。

初めて大学に行ったとき、ひとつの街のように広がって、大変驚きました。敷地内を車やスケートボード、自転車で移動する人がたくさんおり、食堂に行くのにも道に迷うほどでした。食堂はいくつかの店があり、フードコートのようになっています。日本人が作るお寿司も売られていました。アリーナやジムもあり、ジムは無料で使うことができ、ヨガ教室やロッククライミングなども体験できます。設備もすごく充実しており、SDSU の学生以外の人もたくさん利用していました。図書館は 24 時間開いており、時間を気にせず好きな時間に行けるのですごく便利です。様々な国から来た留学生が多く、大学内はとてもグローバルな雰囲気があります。日本人の留学生も多く、すぐに不安はなくなりました。初めて留学するには最高の環境だと思います。



授業も日本とは違い、先生と生徒の距離が非常に近く、アットホームな環境で勉強しやすいです。クラスがあり毎日みんなと会えるので顔と名前も覚えやすく、他の国の友達もできました。授業内容は高校のときにやったような内容であるため、そこまで難しくないのですが、説明がもちろん英語なので初めは戸惑いました。しかしだんだんと慣れていくにつれて理解でき、そのことがすごく嬉しかったです。映画を観てその内容をグループで話すという授業もあり、英語が身に付く感覚があり、私はその授業が一番好きでした。朝8時からの授業でしたが、毎日学校に行くのが楽しみでした。また、学校の敷地内にバス停とローリーの駅があるので、交通のアクセスが良く、学校終わりに放課後気軽に様々な場所へ行けました。大学のア



メフトチームの試合が近くのスタジアムであり、観戦したのですがプロの試合のようでものすごく興奮したのを覚えています。

何もかもが日本の大学とは違い、感動しました。SDSU は勉強の環境はもちろん、勉強以外にも楽しめるものがたくさんあり、密度の濃い1か月でした。充実した日々を送ることができ、とてもいい経験になりました。



④ SDSU について

経済学部 2 年 飯塚美咲

私は、サンディエゴ州立大学の IEC というプログラムに 4 週間参加しました。IEC とは英語コミュニケーション能力を鍛えるプログラムです。この他にもたくさんのプログラムがあり、それぞれの目的に応じて英語を学習することができます。また、途中から授業に参加出来る機会が多く設けられているので、学校が休みの時などを利用して語学研修をすることができます。



学校が始まってから、まず初めにテストを受けました。これはライティング、リーディング、スピーキングの3つのテストです。この結果によって自分のレベルにあったクラスに分けられます。私のクラスには日本人だけでなく、さまざまな国の人がありました。授業はもちろん全て英語で進められます。授業の形態も日本とは違って、座学ではなく、ペアワークがほとんどでした。最初は伝えたいことがなかなか伝わらず、大変な思いをしましたが、毎日英語で会話していると自然と発音も上達し、会話中の沈黙も少なくなりました。また休み時間には、さまざまな国の人と話をして、文化や挨拶の仕方などを教えてもらい、たくさんのことを学ぶことが出来ました。もし授業に参加して、自分に合っていないと思ったら、レベルを下げることも出来ます。また、放課後にある発音矯正教室に、規定された回数参加したらレベルが上がるシステムになっています。このシステムによって、自分にあった授業を受けられるだけでなく、生徒のやる気が引き出されると思いました。



授業だけでなく、施設も充実していました。キャンパスはとにかく広くてびっくりしました。敷地内にアメフトの試合を行ったりするドームや、24時間利用できる図書館、本格的なジムもありました。私も放課後、ジムに行って体を動かしたり、学食で友達と話したりと、学内の施設を有効に使わせてもらいました。

4 週間という短い期間だったけれど、語学だけでなくアメリカの文化も学ぶこともでき、とても充実した 4 週間でした。この経験を生かして、さらに英語の勉強に励みたいと思います。



⑤ 短期留学で経験したこと

経済学部 2 年 後藤亜理沙

サンディエゴで過ごした4週間は私にとって今まで経験したことのないようなとても貴重な体験となりました。

授業は月曜日から木曜日までで金曜日は選択授業というかたちでした。途中休憩をはさみながら朝 8 時から昼 1 時までの 3 コマです。朝 8 時から授業というのはなかなか大変でしたが午後からは自由に使える時間が長いので毎日どこかへ出かけるなどしていました。



いざ授業が始まってみるとクラスの 6 割は日本人という感じでした。もちろんすべて英語で、自分以外のひとがすぐ英語ができるように感じました。毎日 1 限目はオーラルコミュニケーションで、2、3限目は文法やリーディングの授業です。そのうちのひとつは映画を見ました。どの授業もペアやグループでするので絶対英語を自分から話さないといけません。当たり前かもしれませんが、英語を思い通りに話すことはすごく難しく、文字にすると簡単にわかることも聞き取れませんでした。しかし、私が必死に伝えようとするするとみんな理解してくれようとするし、英語を教えてください。それから日本の電子辞書がとても役に立ちました。他の国にはないみたいで先生や学生もうらやましいと言っていました。3 週間目くらいになるとクラスにも慣れてきて、日本人以外の人たちとも楽しく話ができるようになりました。印象的だったのは、課題で私の書いていた答えがおもしろかったらしく台湾人の学生が爆笑してくれたことです。他にもディズニーランドの話で盛り上がり、とても楽しい時間を過ごせました。大分大学以外の日本人は都会の大学が多いためまた社会人の人もいて、いろいろな話が聞けてとても刺激になりました。

アメリカで私がとても好きだったのは、人々がとてもフレンドリーなところ。知らないひとでも道端で会うとニコツとしてくれたり“Hi, how are you?”などと話しかけてくれました。日本にはない文化だと思います。

今回の留学で私はすばらしい経験と出会いをたくさんすることができ、今後の自分を高めるきっかけにもなりました。とても有意義な夏休みでした。そしてまた絶対アメリカに行きたいです。



⑥ 語学研修全般について

経済学部 2 年 田崎朱華

私は夏休みの間にサンディエゴ州立大学へ語学研修に行きました。大学の授業は朝 8 時から昼 13 時まであり、オーラルコミュニケーション、ライティング、リーディングの順に毎日 3 コマ授業が行われていました。クラスは初めに行われるプレースメントテストで分けられ、私のクラスは日本人よりほかの学生が多かったです。そのため、休み時間に会話できたり、トランプで一緒に遊んだりと交流でき、文化や考え方の違いを感じました。授業はすべて英語で行われ、質問した時の返答もちろん英語です。英語が苦手な私にとって英語で会話するオーラルの授業が一番苦労しました。しかし、ALI の先生方がやさしい英語で、意味も分かりやすく説明してくれたおかげで、何とかついていくことができました。

日本の大学との大きな相違点は学生の意欲の高さだと思います。授業で発言するのは当たり前で、先生の言葉に皆積極的に反応し、自分の意見を持っていました。こ

⑦ 夏季語学研修レポート

経済学部 4 年 池辺朱里

の点も苦労したことの一つで、慣れるまでは指名されないと発言できず、「静かな学生だ」と言われたこともありました。このようなギャップにも苦しみ、初めの一週間はきつかったですが、少しずつ理解できるようになると楽しく感じました。



次にホームステイについてですが、私はあまり不自由な生活だと感じませんでした。ホームステイ先には、お母さん、娘さん、そして同じ時期にホームステイしたブラジル人の学生がいました。家族の方は非常に親切で、気を使ってくれました。私がいつも楽しみにしていたのは食事の時間です。料理の好きな方で、毎日さまざまな国のおいしい料理を作ってくれて、夕食の際は会話が弾みました。

今回語学研修に行ってきたのは外の世界を知れたことです。観光も十分にできました。やはり日本とアメリカでは規模も、生活様式も、考え方も違います。そうしたいって見ないとわからないことが知れて、本場の英語を毎日耳にすることができました。これはそう簡単にできることではないし、学生のうちだからこそその体験です。私にとって貴重な経験でした。



私は、9 月 3 日から 4 週間、アメリカのサンディエゴ州立大学に短期留学に行き、IEC(Intensive English for Communication)というプログラムで英語の勉強をしました。朝 8 時から午後 1 時まで、Oral Communication、Grammar & Writing、Reading & Listening の 3 つの授業を受けました。授業はすべて英語で行われ、クラスメイトも韓国・台湾・サウジアラビア・ブラジルなど様々な国からきた留学生だったので最初は英語を聞き取ることも難しく、授業についていくのに必死でした。



Oral Communication の授業は、映画を見て感想を言い合ったり、自分のことについてパートナーやグループで話したりと会話中心の授業でした。Grammar & Writing の授業は文法を学んだり、英語でのレポート作成などを行いました。Reading の授業は文章を読み多くの単語を学び、Listening では映画を見て実際にアメリカ人が使う、教科書にはのっていないような表現を学ぶことができました。全ての授業を英語で学ぶため理解するのに時間がかかることもありましたが、先生がわかるまで丁寧に教えてくれるので段々と楽しく授業に参加していけるようになりました。また、全ての授業が、ただ先生の話聞くだけというものではなく、ペアやグループになって一緒に問題を解いたり会話をしたりするという形式でした。英語を学びながらその場で実際に英語を使って会話をすることが出来たので、日本で英語を学ぶよりも、身につくのが早かったように感じました。授業中だけでなく休憩時間なども他の国の留学生と会話をしていたため、日本ではなかなか経験出来ない英会話や英語でのコミュニケーションも毎日行う



ことができ、英語力の向上につながったのではないかと思います。

今回の留学で自分の英語力の無さを実感すると共に、他の国から来た留学生のレベルの高さや積極性に触れ、英語学習に対する意欲もわきとても良い経験となりました。



⑧ 夏季語学研修を終えて

経済学部 2年 雑花孝彰

私は9月1日から9月28日の約4週間、アメリカのサンディエゴ州立大学での語学研修に参加させていただきました。私は自分自身の語学力を向上させたいと思いこの研修に参加しました。私がホームステイさせていただいたのは高齢の女性のハウスでした。そこには私の他にブラジル人、中国人、サウジアラビア人がステイしていました。夕食は毎日彼らと一緒に食べ、たくさん話をしました。もちろん会話はすべて英語でした。私は初めのほうはなかなか会話に参加できませんでしたが日に日に自分から発言できるようになり、英語でコミュニケーションできる自分に興奮していました。大学が休みの日には海に連れて行ってもらったり、ロサンゼルスに連れて行ってもらったりと、とても楽しかったです。

学校の授業は個々人のレベルに合わせたクラス分けがあり、英語があまり得意ではなかった私でも楽しく学べる環境が整っており、しっかり英語を学ぶことができました。クラスメイトにもさまざまな国の人がいって彼らとペアになりスピーキングを行いました。毎日の授業が私にとって非常に濃い時間となりました。週末の休みの日を利用して研修仲間とロサンゼルス、ハリウッド、ディズニーランドのツアーに行きました。どこへ行っても楽しく、どこに行ってもよい思い出を作ることができました。

今回は4週間という非常に短い研修期間でしたが、私が今回の語学研修で得たものは語学力だけではありませんでした。ルームメイト、クラスメイト、ホストマザー、ティーチャー、そして研修仲間、私は“友達”という名の人生

の宝を手に入れることができました。“If I want to convey something, I should say something. (もし何かを伝えなければ発言すべき)”ということをもっと感じることができました。最後にこの研修に参加させてくれた両親をはじめ、出会った人すべてに感謝して、これからもこの思いを忘れずに日々精進して頑張っていこうと思います。

Thank you for everything and everyone!!!



⑨ 大分大学夏季語学研修プログラムに参加して

経済学部 4年 田村未来

私は、9月1日から28日までの四週間、サンディエゴ州立大学の American Language Institute (ALI) で、Intensive English for Communication (IEC) という語学研修プログラムに参加しました。このプログラムは、レベル別に分かれているため、自分に合った授業を受講することができました。授業は全て英語で行われ、ほとんどの授業で辞書を使うことを禁止されていたため、初めの方は全くついていけませんでしたが、しかし、分からない単語も、簡単な単語やジェスチャーを交えて説明してくれたので、辞書を使うよりも英語の勉強になったと思います。さらに、休み時間や昼休みなども、積極的に他国の留学生と交流し、英語でコミュニケーションを図ろうと心がけることによって、英語を使う機会を増やしました。最終日は、大分の留学生が帰るからと、クラスメイトがお別れパーティを開いてくれるほど、仲良くなることができました。

平日は、お昼から自由な時間なので、友人とトロリーに乗って色々な所に行きました。学校以外の場で耳にする英語は、予想以上にスピードが速く聞き取ることが難し

⑩ 夏季語学研修レポート ホームステイ

経済学部 2 年 橋本卓弥

私は9月1日から9月28日までの4週間、アメリカのサンディエゴに夏季語学研修に行ってきました。



4週間の間私はコートニーさんとシェーン君(11歳)のお宅にホームステイさせていただきました。コートニーさんとシェーン君はとても親切で明るく、フレンドリーな方たちだったので、私は家族で過ごした時間がすごく楽しかったです。家族にいるときはよく映画を見たり、トランプ、カラオケをしたり、夜プールやジムにみんなで行ったりもしました。シェーン君とはサッカーをしたり、スケボーも教えてもらったりもしました。またコートニーさんの友達も家によく来てくれ、遊びに連れて行ってもらいました。コートニーさんの友達はナイジェリア、フィリピン、スペイン、ブラジルなどさまざまな国の人たちで、そういった人たちと交流できたことはいい勉強にもなりました。ナイジェリア料理を作ってくれたり、カジノに行ったり、クラブやバーへお酒を飲み連れて行ってもらえたりと、みんなにさまざまないい経験をさせてもらいました。私が出会ったサンディエゴのみなさんはとても親切でおもしろく素敵な人たちばかりでした。

またコートニーさんの作ってくれる料理もおいしく、肉ばかりではなく野菜もふんだんでオーガニック製品を使用した健康的な料理でした。もちろんアメリカのでっかいハンバーガーやサンドウィッチ、ポテトもすごくおいしかったです。見るものすべてが新しく新鮮に感じたサンディエゴでの4週間はとても充実しあつという間に過ぎました。

アメリカと日本では生活様式も異なっているため驚くこともありましたが、アメリカの生活文化に直接触れ体験できたホームステイは、すごく刺激を与えてくれたいい経験になりました。



かったです。しかし、聞き取れずにいると、外国人観光客も多いためか、いやな顔をせず何度も説明してくれました。また、レストランでチップを払うシステムは、日本にはない習慣なので、最初はとまどいもありました。また、アメリカは、サイズや量が日本よりも多いので、たまに頼みすぎて失敗することもありましたが、徐々に慣れることができました。



ホームステイ先では、ホストマザーが一人とルームメイトのブラジル人留学生が一人いました。ホストマザーが仕事をしているということもあり、会話を交わすのは夜ご飯のときぐらいでしたが、その分、ルームメイトと、とっても仲良くなりました。私に分かるように、簡単な単語に置き換えてくれたり、ホストマザーに訳してくれたり、本当に親切に接してくれました。

今回の留学は、周りの先生方、ホストファミリー、ルームメイト、クラスメイトのおかげで、充実したものとなりました。今後も、サンディエゴで学んだことを活かし、国際交流を深めていきたいという気持ちになりました。



⑪ 夏季語学研修 ホームステイと生活など

経済学部 1 年 中野友絵

私はこの夏、アメリカの San Diego State University の語学学校に短期語学研修に行ってきました。ほとんどのことが初めてで、現地に着くまでは不安だらけでしたが、毎日がとても充実しており、一ヶ月があつという間に過ぎてしまいました。ホームシックにならなかったことは自分自身でも驚きでした。

そんな風を感じることもできたのも、多くの方が優しく、気さくに接してくれたからだと思います。ホームステイ先の娘さんがドライブに連れて行ってくれたことや、ダンスや歌などを教えてくれたことは、本当に忘れられない思い出です。また、ホームステイ先で映画やドラマをよくみていたのですが、わかりにくいところは解説してくれたり、巻き戻して、もう一度みせてくれたり、本当に優しい家族でした。

街は雨があまり降らないこともあって、建物などがとても綺麗で、気さくで、優しい方が多かったです。最終日にテスト会場を間違えて、かなり動揺していたのですが、多くの方が助けてくれ、なんとか受験することができました。バスの運転手さんがお客さん全員に、テスト会場への行き方を尋ねてくれた時は、ちょっと恥ずかしかったのですが、とても助かりました。

写真は新聞販売機とトロリーです。アメリカでは、新聞は売店かこの販売機で買うことが多いそうです。また、ゴミ箱がありとあらゆる場所に設置されており、なんでも捨てていいといわれました。トロリーは時間がかかりますが、5ドルで一日乗り放題なので、よく利用していました。



日本が好きだと言ってくれる人がいたことも、とても嬉しかったです。SDSU の中でもたくさんの人に出会い、色々な国の人の考えを知ることができたのは、本当に素晴ら

しい経験だったと思います。ですが、言いたいことをすぐに英語にできなかったり、自分が思うようにコミュニケーションがとれなかったりと、英語力のなさを痛感することもありました。

これから今回の経験をふまえた上で、もう一度勉強し直し、次回は一年間、留学したいです。そして、いつか San Diego で出会った人たちと、また会いたいです！



⑫ サンディエゴ語学研修体験記

経済学部 2 年 松本香美

ホームステイ、英語でのコミュニケーション、英語での授業、初めてのことがたくさんある中で困難なことも多くありましたが、それ以上に充実した日々を送ることができました。

ホームステイ先ではとても優しいホストファミリーとルームメイトに囲まれ、毎日楽しく過ごすことができました。毎日おいしい食事を作ってくれたり、日本食が恋しくなるだろうから味噌汁をくれたり、私の拙い英語も真剣に聞いてくれたりと、大変優しく接してくれました。コロナビーチ、皆で夜の運動場で映画を見るという小学 1 年生の娘の学校行事など、色々なところにも連れて行ってくれました。アメリカの人々は目が合っただけでも微笑んでくれたり、あいさつをしてくれたり、気軽に話してくれたりする人がたくさんいて、英語が伝わらずもどかしい思いをすることもありましたが、その分たくさんの人々とコミュニケーションを取りたいと思えました。



英語での授業は普段の生活で使う英語とは違った英語を学ぶことが出来、また世界各地から来た人々と関わることが出来たため、その国の文化の違いなどに驚きがたくさんありとても楽しかったです。

サンディエゴにはたくさんのビーチや施設があり、休日にもたくさんの場所に行きました。水族館と遊園地が融合したようなシーワールドや、ディズニーランドにも行きましたが、アトラクションも日本のものと違って、安全面というより楽しさや面白さ、スリリングさを重視していて、色々な場面で日本とアメリカの違いを味わうことが出来ました。



この一か月間、毎日刺激に困られていました。日本では味わうことの出来ない驚きなどをたくさん体験することが出来、現地に行って初めてわかることが多く、英語をもっと勉強した行きたいと思える場所でした。

